

イエス様の裁判③ヘロデ

ルカの福音書23:8-12

2015,2,1 HKJCF

概観

- 1、ヘロデ家の罪
 - 2、ヘロデの嘲弄
 - 3、ヘロデとピラトの一致
 - 4、適用と祈り
- 「主よ、私の良心はあなたからの贈り物、私の心の光、私の心の守りです。どうか、み言と祈り、聖徒の交わりを通し、聖い良心が与えられ、あなたの愛と義に導かれて歩むことができますように」

I ヘロデ家の罪

- 1、ヘロデ大王（父） マタイ2:1, 16
 - 2、ヘロデ・アグリッパ I 使徒12:1
 - 3、ヘロデ・アンテパス マルコ6:14-29
- ⇒罪の世代間連鎖 出エジプト20:5-6

良心は神様からの賜物、しかし聖書と聖霊がなければ罪の影響で損なわれる 預言者ヨハネ(神様からの良心)を殺害してからのヘロデの人生を想像してみよう

ルカ3:19-20,9:7-9, 13:31-33,

ルカ9:5, マタイ7:6

II ヘロデの嘲弄

- 1、イエス様への好奇心←良心は？
 - 2、イエス様の沈黙
 - 3、ユダヤ人への軽蔑←聖書は？
 - 4、政治状況への苛立ち
 - 5、イエス様への侮辱←人間の未熟さ
- ⇒ヘロデの良心は働かず、好奇心・軽蔑・侮辱へと罪の階段を降下し、生涯一度のイエス様との出会いの機会を無にした

III ヘロデとピラトの一致

- 1、ユダヤ人への軽蔑
 - 2、良心の機能不全
 - 3、地位への固執
- ⇒ヘロデとピラトには妙な共感があった
- しかし、①人間的な「罪による連帯」は真の信頼とは無関係②人間の真の交わりはイエス様を主とし、間に置く関係から③良い人間関係に恵まれるためにはイエス様を主とする必要がある「恵みによる一致」

IV 適用

- 1、解放されるべきこと(良心の回復の為)
 - ①責任転嫁 ②不健全な好奇心 ③罪生活への安住・習慣化

→多様な防衛から悔い改めと感謝へ
- 2、求めるべきこと(良心の回復の為)
 - ①聖書:山上の説教・十戒・ローマ・詩編
アモス書・イザヤ書・エレミヤ書
 - ②祈り:イエス様との個人的交わり
 - ③交わり:アカウントビリティーパートナー

⇒十字架の恵み・愛・義にとどまる